

平成27年10月27日に日本国内閣官房とアゼルバイジャン共和国首相府との間の医療分野における協力に関する意図表明文書の署名式が、アゼルバイジャン首相府にて実施され、甘利大臣及びシャリホフ副首相が署名しました。

署名式には、Medical Excellence JAPAN* 相川理事も同席し、シャリホフ副首相に対し、日本の医療界として今後具体的な事案において協力する用意のあることを説明しました。

両国は、相互に関心を有する医療分野における協力を促進する意図を有して、次の点で共通の認識に至りました。

- 両国の官及び民ベースでの人材育成を含む医療分野における相互に有益な協力を促進する機会を追及する。
- 日本国内閣官房は、本意図表明文書に示される人材教育における協力の一環として、平成28年3月頃に独立行政法人国際協力機構の技術協力スキームを通じた「病院マネジメント」の分野における研修プログラムが開始されることを歓迎する。

* 日本政府と共に日本の医療の国際展開を担うべく平成23年に設立された一般社団法人。

